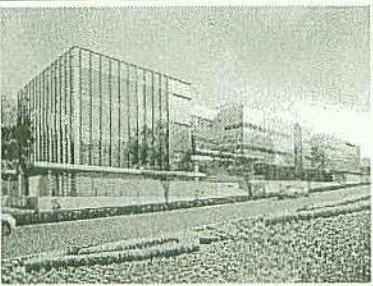




鎌入れする下永田社長



完成予想



鎌入れする山口理事長



鎌入れする市川社長

五島育英会は22日、東京・多摩ニュータウン内に計画し、唐木田新築工事の起工式を現地で開いた。東急自動車学校を世田谷区から多摩市に移転し、教習生のサークル活動に教室を開放するなど

五島育英会 地域と調和した教習所を目指す。設計・監理は東急設計コンサルタント、施工は東急建設が担当し、12月に開校する予定だ。

神事では、東急設計コンサ

学生による利用が予想される

五島育英会は22日、東京・多摩ニュータウン内に計画し、唐木田新築工事の起工式を現地で開いた。東急自動車学校を世田谷区から多摩市に移転し、教習生のサークル活動に教室を開放するなど

五島育英会 地域と調和した教習所を目指す。設計・監理は東急設計コンサルタント、施工は東急建設が担当し、12月に開校する予定だ。

上野弘志所長(東急建設)の話 「校舎と教習コースの造成工事を同時に進めるため、連絡を密にし、無事故・無災害

東急ドライビングスクール起工

設計・監理＝東急設計コン

施工＝東急建設

ルタントの下永田洋社長が鎌入れ、五島育英会の山口裕啓理事長と東急自動車学校の白石明校長が鎌(くわ)を入れ、東急建設の市川正美社長が鎌(すき)入れを行った。

直会(なおらい)で、山口理事長は「都市計画事業の実施により区の要請を受け移転を

ため、都会的なデザインと快適な導線を目指した」と説明

した。市川社長は「当社の技

術を結集することも、無事

入り、東急建設の市川正美社

故・無災害で建物を引き渡し

たい」と述べた。

規模は、S造地下1階地上3階建て延べ4841平方

3万5476平方㍍。

敷地東側に1万3381

平方㍍の自動車教習コース、

西側に4170平方㍍の2輪

車教習コースを配置する。

建

設地は、同市唐木田3-6の

敷地3万5476平方㍍。

上野弘志所長(東急建設)の話 「校舎と教習コースの造成工事を同時に進めるため、連絡を密にし、無事故・無災害

で完成させる」

首
都
卷

五島育英会が東京都多摩市に計画している「東急自動車学校」の起工式が22日、現地で行われた。設計・監理を東急設計コンサルタント（一部監理を五島育英会）、施工を東急建設がそれぞれ担当する。起工式には関係者約40人が出席。東急設計コンサルタントの下永田

受けて移転することになった。

になる。地下1階に駐輪場（32台分）と検定待合室、地上1階にエントラントロピードーと駐車場（33台分）、2階に受付ラウンジや事務室など、3階に教室やシミュレーター室などを配置する計画だ。

東急設計コンサルタントの下永田社長は「近隣大学の学生をターゲットに、都会的でおしゃれな建物にしたい」と話した。東急建設の市川社長は「誠心誠意工事に取り組むとともに、無事故無災

東急自動車学校が起工

設計・監理＝東急設計コンサルタント、施工＝東急建設

五島育英会 11月末完成目指す



完成イメージ



錦を入れる下永田社



銃を入れる山口理事長



銃を入れる白石校長



鉢を入れる市川社長



一造成工事と建設工事の調整をうまく取りながら、並行して工事を行つていきたい」

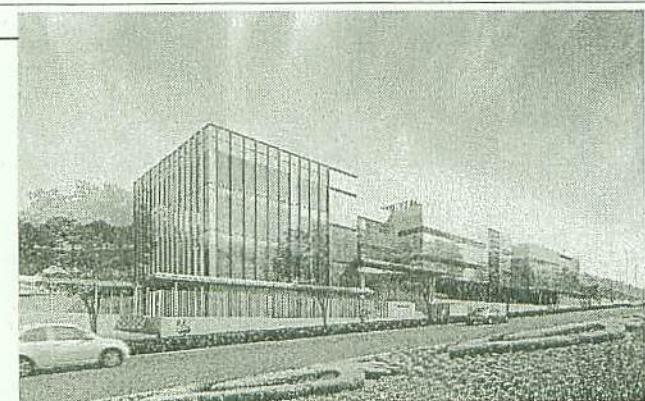
鍵入れする東急自動車学校
白石明校長



鍵入れする東急建設
市川正美社長



鎌を入れる東急設計コンサル
タント 下永田洋社長



五島育英会 東急自動車学校 新築工事が着工

東急自動車学校
完成パース

土地3万5千m²超に建物 4.8千m²と教習コース整備

五島育英会(渋谷区道玄坂1ノ10ノ7)は22日、東急自動車学校新築工事(多摩市唐木田)の起工式を行った。神事には五島育英会、東急自動車学校の関係者、設計・監理を担当する東急設計コンサルタント、施工担当の東急建設の関係者が参加し、工事の無事故・無災害を祈念した。

神事の後の直会(なわらい)

五島育英会(渋谷区道玄坂1ノ10ノ7)は22日、東急自動車学校新築工事(多摩市唐木田)の起工式を行った。神事には五島育英会、東急自動車学校の関係者、設計・監理を担当する東急設計コンサルタント、施工担当の東急建設の関係者が参加し、工事の無事故・無災害を祈念した。

11月末を予定している。



上野弘志所長のコメント

「先行して進めている造工事など土木工事と校舎など建築工事との連絡、調整に気を配り、スムーズ工程、無事故・無災害での施工に努める」



上野弘志
所長

校の白石明校長は「用地取得からきょうの着工まで協力いたいた関係者に感謝するとともに、無事故・無災害で完成の日を迎えることをお願いしたい」と語った。

施設の計画概要は、多摩市唐木田3ノ6、都道158号小山笠田線・通称南多摩尾根幹線に面した斜面地3万54

76平方㍍の土地に4輪教習コース、2輪教習コースと学科教育や事務室などの校舎を配置。校舎の規模は鉄骨造地下1階地上3階建て延べ4841平方㍍。内部は各階ごとにラウンジを設け快適な空間を提供するほか、教室、シミユレーター室、研修施設などを機能的に配置する。完成は

76平方㍍の土地に4輪教習コース、2輪教習コースと学科教育や事務室などの校舎を配置。校舎の規模は鉄骨造地下1階地上3階建て延べ4841平方㍍。内部は各階ごとにラウンジを設け快適な空間を提供するほか、教室、シミユレーター室、研修施設などを機能的に配置する。完成は